

令和3年度 第2回鳥取大学・日南町ワーキンググループ会議 次第

日時：令和4年3月31日（金）13：30～

会議：ZOOM利用によるオンライン会議

1. 挨拶

WG会議座長 地域価値創造研究教育機構 教授 清水克彦  
日南町長 中村 英明

2. 出席者

出席者名簿（資料1）

3. 報告・協議事項

（1）令和3年度連携事業報告について（資料2）

- 3者連携協定事業 中山間地域の課題解決に関する連携協定  
日南町ショートタイムワーク
- 教育・文化  
出前科学実験教室、国際理解講座、とっとり暮らし早期体験学習、  
地方創生体験学習
- 産業・環境  
日南町福万来におけるホテルによるエコツーリズム振興のための研究
- 防災  
鳥取県の孤立の可能性ある集落における地域防災力向上のための支援プログラムの構築

（2）令和4年度連携事業計画（資料3）

4. 質疑応答

5. 閉会

鳥取大学 理事（地域連携担当）・副学長 藪田 千登世

添付資料

- ・令和3年度までの主な経緯（資料4）

(資料1)

令和3年度 第2回 鳥取大学・日南町連携事業ワーキンググループ会議 出席者

(順不同・敬称略)

所 属 ・ 職 名		氏 名
鳥取大学	理事(地域連携担当)・副学長 地域価値創造研究教育機構 機構長	藪 田 千 登 世
	地域価値創造研究教育機構 教授 (本会座長)	清 水 克 彦
	農学部 生命環境農学科 講師	木 原 奈 穂 子
	地域価値創造研究教育機構 副機構長	大 場 尚 志
	地域価値創造研究教育機構 地域連携推進室 室長	北 島 敏 郎
	地域価値創造研究教育機構 地域連携推進室 主任	石 井 菜 津 美
	地域価値創造研究教育機構 地域連携推進室 室員	岩 見 勇 希
	地域価値創造研究教育機構 地域連携推進室 室員(日南町出向職員)	中 嶋 玄 大
日南町	町長	中 村 英 明
	企画課 課長	実 延 太 郎
	企画課 企画振興室 室長	島 山 圭 介
	企画課 自治振興室 主事	牧 恭 平
	自立改革推進本部推進本部 専門員	中 島 宏 二

## 令和 3 年度鳥取大学一日南町連携事業計画

### 鳥取大学一日南町連携事業ワーキンググループ会議・連携事業報告会

第1回 令和3年 6月21日（オンライン会議）

第2回 令和4年 3月31日（オンライン会議）

### 【3者協定に基づく連携事業】

#### ●中山間地域の課題解決に関する連携協定（継続）：その他連携事業

（鳥取大学／日南町／ソフトバンク）

#### ●日南町ショートタイムワーク（農学部 講師 木原奈穂子／企画課／ソフトバンク CSR 本部）

#### 【背景と現状】

令和元年度に実施した日南町『雇用・就労アンケート』において、60代・70代の雇用の場を求める声は非常に多い状況。

また、高齢者だけでなく子育て世代のお母さんなど、フルタイムは困難でも、ショートタイムなら働ける方々を、働き手を求める企業と繋げる仕組みを町内企業と連携し進めていくことが今後重要となる。

全国、米子市と比較しても日野郡内の求人は高い状況。

令和2年8月より開始した「日南町ショートタイムワーク」プロジェクトであるが、今年度は「おしごとバンク交流会」を開催するなど、具体的な動きを開始した。継続して交流会を開催し、検証を重ねながら仕組み構築を進めていく。

#### 【主な動き】

日にち	出来事	備考
5月17日～ 6月10日	「おしごとバンク(仮称)」検討のためのアンケート	検討中の「おしごとバンク」について、町民の意見聞くためアンケート実施。 ・広報で全世帯に配布(紙面回答) ・町のHPに掲載(Web 回答) ⇒回答数 159 人
7月27日	第11回打ち合わせ	ハローワーク根雨(加藤所長)の打ち合わせ参加で、労働法令等の説明・確認を実施。
8月22日～ 8月28日	鳥取大学学生インターン実施 (7日間で延べ7人参加)	町内の農業事業者でインターン実施。 今後 STW で仕事募集する場合に、未経験者がどの程度できるかの確認。 ・農作業実施 ・農業機械操作 ・ドローン操作 など

8 月 27 日	【視察】日野町未来づくり事業協同組合へ	特定地域づくり事業の県内事例である同組合を視察訪問。STW 今後の展開の参考として視察したもの。
9 月 9 日	【視察】大山町役場へ	大山町の実践である「スキマ時間プロジェクト」を視察訪問。主に農業の働き手を募集するもので、マッチング交流会を実施している。 ⇒STW でも参考にして、交流会を計画
12 月 11 日	おしごとバンク交流会(第 1 回)	事業者(10 先)、参加者(10 人) ⇒マッチング実績が 2 件あり
3 月 13 日	おしごとバンク交流会(第 2 回)	事業者(9 先)、参加者(1 人) ⇒マッチングなし

- ・ 今年度は、通算 17 回の打ち合わせを行った。
- ・ 打ち合わせに、事業者・ハローワーク・鳥大学生も参加するなどメンバーに広がりがあった。

#### 【今後の動き】

- ・ 来年度も継続して交流会を開催していく。(原則、四半期ペース)  
⇒参加事業者の増加以上に、参加者の増加が重要。伝わる広報に注力していく。
- ・ 交流会はイベント的な取り組みであることから機会を逸することがある、常時のしごと情報のやり取りができる仕組みの検討も行っていく。
- ・ 「おしごとバンク」の専用HPの開設を行い、情報提供を行う。

## 鳥取大学×ソフトバンク×日南町連携事業

# 日南町ショートタイムワークプロジェクト 令和3年度 活動報告

(「おしごとバンクを考える会 活動報告」)

2022.3.31

鳥取大学農学部 木原奈穂子

## 1. 短時間就労ニーズの調査

### ●実施対象

日南町の全住民

### ●実施期間

令和3年5月17日～6月10日

### ●実施方法

日南町・商工会・ソフトバンク㈱・鳥取大学の連名による  
WEB回答と紙面回答の併用

### ●回答率

3.94%(全住民4,032に対する。紙面回答:83人・WEB回答:78人)

### ●アンケート内容

短時間での就労希望の程度 / 就労時に気にする点 / 希望作業内容  
おしごとバンクの活動に対して

### ●アンケート結果

<https://www.town.nichinan.lg.jp/material/files/group/17/osigotobannkuannke-to.pdf>

## 0. 活動の概要

- ① 日南町の短時間就労ニーズの現状把握(5～6月)  
どの程度、短時間での就労にニーズがあるのかの調査  
→ 全住民を対象に就労に関するアンケート調査の実施
- ② マッチングシステム検討に向けたトライアル雇用(8月)  
働き手と事業者とを結ぶマッチングシステムに必要な要素を検討  
→ 学生インターンシップの実施
- ③ マッチングシステムのあり方の検討(9～3月)  
「おしごとバンクを考える会」を創設  
→ 「おしごとバンク交流会」(マッチング交流会)の実施  
→ 事務局体制の有無の検討

2

## アンケートご協力をお願い

★6月10日(木)までにご回答をお願いします。

2021年5月

日南町民の皆さま



左のQRコードからWEBでご回答いただけます。

紙面回答の場合は、  
「回収ボックス」へ投函をお願いします。

【回収ボックス】⇒役場庁舎・福祉保健課・各地域振興センター

日南町

日南町商工会

鳥取大学

ソフトバンク株式会社

### 「おしごとバンク(仮称)」検討のためのアンケート

日頃より日南町政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。お忙しい時期とは思いますが、以下のアンケートにご協力いただけますようお願いいたします。

本アンケートは、昨年8月に締結した「日南町と鳥取大学とソフトバンク株式会社との中山間地域における課題解決及びSDGs推進に関する連携協定」に基づき実施するものです。本アンケートの結果は統計的に処理され、個人が特定されることはなく、連携協定の目的以外には使用しません。【担当課：企画課(82-1115)】

#### 【アンケートの目的】

平成30年度に実施した日南町『まちづくりアンケート』では、「雇用の場」を求める声が多岐にわたりました。

これまでの調査の結果、短時間・短期間の空き時間を利用して「ちょっとだけだったら働ける、働きたい」といった就労希望があること、また事業所や個人の方の意見として、「ちょっと手伝ってほしい」という短時間・短期間の一時的な仕事があることが分かってきました。上記の連携協定では、これら双方の希望をつなぎ、地域コミュニケーションを活性化させる仕組みとして、「おしごとバンク(仮称)」(※)を実証的に検討しています。「おしごとバンク(仮称)」(※)の検討にあたり、町民皆さまのご意見をお聞かせください。

(※) 短時間・短期間(ショートタイム)の仕事をつなぐ仕組み

▼想定する短時間・短期間(ショートタイム)の仕事の例  
(軽作業) ◆封入/封かん◆袋詰め◆梱包◆発送◆清掃◆裁縫 など  
(季節的・一時的な仕事) ◆農作業(草刈りほか) ◆イベント補助◆経理補助◆検計・集金 など  
(パソコンを使った仕事～在宅～) ◆データ入力◆文字おし◆資料作成◆チラシ・パンフレット作成 など

\*\*\*\*\* 以下、アンケートにご協力ください。 \*\*\*\*\*

4

## 2. トライアル雇用(学生インターンシップ)

- 目的

短時間就労をマッチングする際に必要となる情報と周知方法の検討

- 雇用対象

鳥取大学の学生有志

- 受入先

一般社団法人多里(保険関係の手続き含む)

- インターン期間

令和3年8月22日～28日

※ 8/22～24, 8/24～26, 8/26～28の3日間に分けて実施

※ それぞれ3名, 2名, 3名が参加

- 作業内容

トマトのハウス内での収穫作業を中心とした農作業

- 調整方法

学生アルバイトを中心に友人関係で調整

5



6



7

トマト収穫バイトの感想



## バイト直前までに思ったこと

- ・行く前の情報が少なくてイメージがしにくかった。  
→1日目の作業風景を先生に送って頂いたことによって安心した。
- ・移動面の不安が大きかった。
- ・『作業以外の時間は自由行動』と伝えられたが、空いた時間をどのように使ったらいいのか中々イメージが付かなかった。
- ・コロナ化で実習が減っている中、現地で作業ができることは良い機会だと思った。
- ・トマト収穫と聞いて、重労働なのかなと思っていた。



## 参加してみた感想

- ・楽しかった。思っていたよりも重労働ではなく、気持ちに余裕を持って作業を行うことができた。
- ・トマト収穫以外にも、私のチームでは肥料播きや草刈りなども体験できて貴重な時間だったと思う。
- ・天の川が見れると思っていなかったなので、見れて良かった。
- ・次も参加したいと思った。



## 募集の際に感じたこと

- ・メールでのやり取りになるため、説明や質問のやり取りに時間がかかってしまう。
- ・対面やオンラインを用いての顔合わせを兼ねた説明会が出来れば、事前にどのような人と一緒にアルバイトするのかや、参加前の不安の解消ができるのではないかな。
- ・今回は私達の知り合いなどの範囲内で呼びかけていたが、もっと広い範囲にこのアルバイトの情報が回るように工夫したい。

## まとめ

### 良かった所

- ・農作業を今までやった事がない人でも参加しやすく、経験になる。
- ・学生側からすると食費を浮かしながら、お給料がもらえる。

### 改善した方が良いところ

- ・参加者を募集する際に、情報をもっと発信していきたい。例えば、写真などを使って作業のイメージをつかみやすくすると、参加を決めるきっかけになるかもしれない。



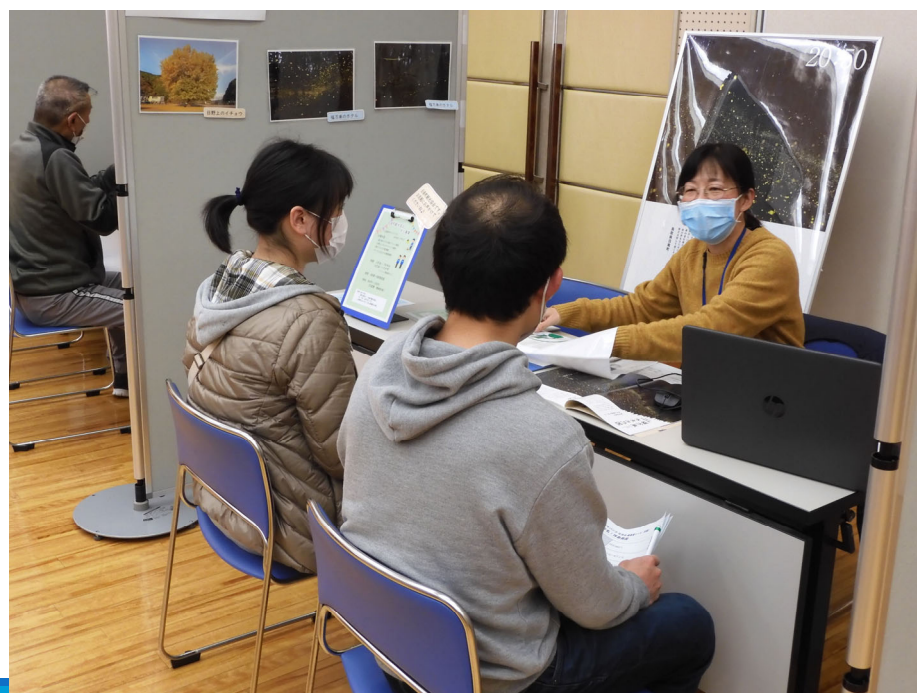
### 3. マッチングシステムの検討 (おしごとバンク交流会)

- 目的  
事業者と働き手をマッチングする場の創出とマッチングシステムの検討
- 実施日  
① 令和3年12月11日(土) ② 令和4年3月13日(日)
- 参加事業者  
① 10事業者 ② 12事業者
- 参加者  
① 13名 ② 2名(うち1名の学生を含む)
- 実施方法  
事業者ブースを設置し、参加者が仕事内容を事業者を確認  
事業者、参加者ともにアンケートを実施
- 実施結果  
第1回で2名をマッチング

13

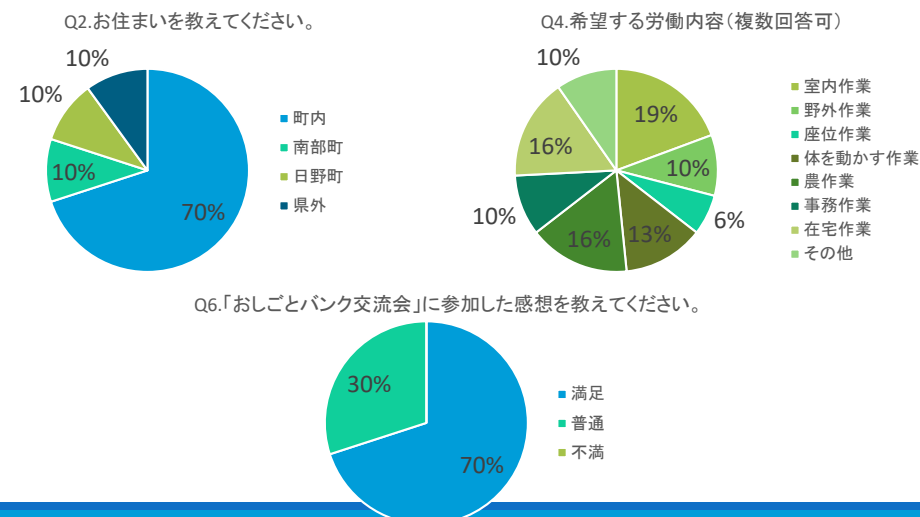


14



15

### 参加者向けアンケート結果(第1回)

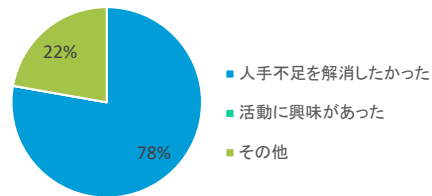


16

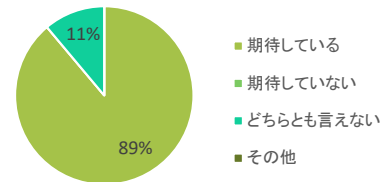


# 事業者向けアンケート結果(第1回)

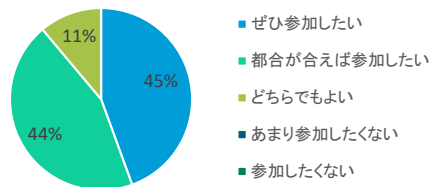
Q2.おしごとバンクに参加しようと思ったきっかけは何ですか。



Q3.短期間での雇用について、期待はしていますか。



Q6.今後、このような交流会に参加してみたいですか？



17

## 4. 今後の活動計画

### ● マッチング体制の構築

HPの作成と事業者紹介, 問合せ体制の構築によるマッチング  
季節ごとの交流会の実施(効果的な実施時期の検討)  
事務局の必要性の検討(人を介するか, アプリケーションか)  
→ STW プロジェクトのソフトランディング

### ● 事業者外の人手不足状況の把握

「地域づくり」における人手・人材不足とSTWとの連携可能性の検討

### ● マッチングシステムのパッケージ化

他地域での応用可能性とそれに必要な検討

### ● 連携協議会体制の推進

同様の取り組みを行う近隣町と情報交換, 連携体制の構築  
(大山町:スキマ時間プロジェクト 南部町:おしごとコンビニ)

18

## 【教育・文化】

## ●「にちなんふる里まつり」に連携する出前科学実験教室（継続）：

地域実践教育活動（エクステンション&amp;アウトリーチ事業）

（技術部 統括技術長 三谷秀明 / 教育委員会）

## 【事業報告】

毎年 10 月に開催される「にちなんふる里まつり」において、鳥取大学医学部及び研究推進機構研究基盤センター、農学部（学生含む）、技術部の教職員がこれと連携して科学実験教室を開催している。日南町の多くの子供達が科学実験やものづくりを楽しむ中で、科学への興味関心を引き起こす機会になることを目指している。

本年度は 10 月 24 日（日）10：00 から 15：00 の間、日南町役場庁舎交流ホールを会場に、「2021 にちなんふる里まつり」にて開講した。

新型コロナウイルス感染症予防のため、例年より開講数を減らしたうえで対面での指導は取りやめ、家庭で各自が実験する方法に変更した。実験の手順が書かれたパネルと、自由に持ち帰りができる実験に必要な物品を準備したコーナーを 5 つ設置するとともに、例年の実験教室の様子も併せて展示した。

受付来場者は、新型コロナウイルス感染症の影響か、例年より少ない 49 名で、1 歳から 93 歳までの幅広い年代の方の参加があった。

「子どもと一緒に楽しめた」、「家でもできるのがうれしい」などの意見があり、年齢を問わず楽しんでいただけた。

今後も身近な物を通して科学への興味・関心を持ってもらう一助となるための更なる発展を期待している。



●（中止）国際理解講座「留学生と遊ぼう」（継続）：

地域実践教育活動（エクステンション&アウトリーチ事業）

（国際交流センター 准教授 御館久里恵／日南町図書館）

【事業報告】

世界各国からきている鳥取大学の留学生と交流することにより、他国への関心を高め、海外を身近に感じることができる機会とする。民族、文化などを紹介した図書を通じてその国の文化に触れ、理解を深める。

内容は、国の紹介、国に伝わる民話絵本の読み聞かせ（現地の言葉と日本語）のほか、国を紹介するクイズや特徴的な遊びなどの参加者体験型のコンテンツも取り入れ、楽しみながら異国の文化を知る。

新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。

●とっとり暮らし早期体験学習（継続）：地域創生推進プログラム

（地域価値創造研究教育機構 教授 清水克彦 ／ 企画課）

【事業報告】

鳥取大学と連携協定を締結している日南町、大山町、琴浦町、南部町、智頭町、八頭町の6町をフィールドとして、実際に現地に赴き視察を実施し、大学入学後早い時期に地域の実情に接することにより、各町の特色ある自然や産業についての教養を身につけるとともに、地域を学ぶ動機付けを行うことを目標とした講義である。本年度は20名が履修登録した。

日南町では、6月17日に日南町の概要について大学で講義を行ったが、コロナ禍のため授業期間中には現地での体験学習ができなかった。11月21日に希望する学生3名が実際に町を訪れ、にちなみ中国山地林業アカデミーにおいて、午前中は林業の現状やアカデミーの取組みを学び、午後は重機の操作体験、ヒノキの間伐体験を行い、林業の面白さや難しさの一端を体験した。



●（中止）地方創生政策体験学習：地域実践型教育活動（地域連携授業）

（工学部 助教 長曾我部まどか / 企画課）

【事業報告】

各連携自治体の地方創生事業について、①事前学習、②体験学習、③事後学習の3つの学習活動を通じて学ぶ。②について日南町で約5日間の体験学習を行うもの。

【これまでの体験内容】

年度	タイトル	内 容
H29	「にちなん観光ガイドブック事業」	日南町の観光と地方創生
H30	「旧木下邸利用促進事業」	旧木下邸の利活用について
R元	多里地域における地方創生体験学習	多里地域の活動を通じて日南町の 現状に対する新たな提案
R2	「日南町へ移住してもらうための取り組み」	移住・定住制度について

今年度は、事業実施なし。



## 【産業・環境】

## 日南町福万来におけるホタルによるエコツーリズム振興のための研究（継続）：その他連携事業

（鳥取大学（日置研究室）とにちなんエコツーリズム推進協議会との共同研究）

## 【事業報告】

本町の希少生物の保護と観光利用の指針となるエコツーリズム全体構想の作成・認定に向け、平成 31 年 3 月、にちなんエコツーリズム推進協議会を立ち上げた。本事業は、エコツーリズムの主要な自然観光資源である福万来のホタル生息域において、ヒメボタルの生息地を調査し、その保全・管理計画を作成し、適切なエコツーリズムの運営に寄与することを目的とする。

昨年（令和 2 年、2020 年）度の調査では、ゲンジボタルに関する調査を中心に行った。今年度は、ヒメボタルの調査を中心に幼虫の生息分布調査、発光数調査、餌資源調査などを行った。また、昨年度のゲンジボタルの補足調査として、発光数調査、幼虫の生息環境調査を行った。



左写真：ヒメボタル幼虫の分布を調べるためのベイトトラップ（餌で誘引するトラップ）の設置

右写真：ベイトトラップ設置地点の土壌水分計測

調査の結果、1) ヒメボタル成虫の発光が多い地点は、2005 年及び 2017 年の調査時点より、とくに河川上流側へ拡大していること、2) 成虫の発光は、土壌含水率が高く、餌となる陸生貝類が多い場所が多いこと、3) 成虫の発生時期は気温が高い年は早くなる傾向があり、長期的にみると徐々に早まっていること、が明らかになった。さらに、4) 幼虫は 2 年以上かけて成虫になっている可能性が高いことも分かった。また、生育環境の保全に関しては、5) スギ・ヒノキ人工林の間伐は、下層植生の発達を促すことになるため、ヒメボタルの生息に正の影響があると考えられること、6) しかし、伐期齢を迎えた林分を主伐する際には、重機による林床の踏み荒らしが、ヒメボタルに大きなダメージを与えるおそれがあるため、林床を攪乱しない方法での収穫が求められること、7) また、大面積での皆伐は、ヒメボタルの生育環境を大きく改変することになるため、小面積でパッチ状に皆伐することが望ましいことなどが提案された。



## 結果（発光調査）



## 発光調査結果

- ：路上調査地点
- ：林内調査地点
- 円の大きさ：個体数
- ➡：調査方向

2005年に行われた調査※では、調査地全体において発光個体が確認されたが、左記の**丸印**の地点において集中して発光個体が確認された。



成虫の発光の中心地が別地点にも拡大していることが明らかになった。

図.ヒメボタル成虫の空間分布図（2021年）

※渡津拓郎（未発表）鳥取県日南町福万来におけるヒメボタルの生息状況とエコツーリズム推進上の課題，学士論文，鳥取大学

## 【防災】

## ●2021 年度とっとりプラットフォーム 5+α 共同研究事業活動推進助成

## 鳥取県の孤立の可能性ある集落における地域防災力向上のための支援プログラムの構築（新規）

（鳥取大学大学院工学研究科 准教授 浅井秀子 / 日南町総務課・企画課）

## 【事業報告】

近年、地震に伴い発生した土砂災害や豪雪、集中豪雨災害により多数の孤立集落が発生している。そのため内閣府では、平成 17 年度より「中山間地等の集落散在地域における孤立集落発生の可能性に関する状況調査」を実施し、平成 25 年度には、3 回目のフォローアップ調査を実施している。鳥取県の対象集落は、898 集落(H25 年度調)で、そのうち「孤立可能性がある」は 100 集落(11.1%)である。また鳥取県は、独自に 1990 年から 5 年おきに、特に山間地域の最奥部集落に居住する住民の日常生活の状況等を把握し、次期の施策の基礎資料とすることを目的とし、「山間集落实態調査」を実施している。

これらの実態を踏まえて、本事業は、鳥取県が独自に実施している 2016 年度「山間集落实態調査」をもとに孤立の可能性ある集落における地域防災力向上のための支援プログラムを構築することを目的としている。

(1)モデル自治体の選定

鳥取県内の日南町、大山町、智頭町をモデル自治体とし、そのうち 2016 年度「山間集落实態調査」をもとに孤立の可能性ある集落 21 集落(智頭町 8 集落・大山町 5 集落・日南町 8 集落)を対象に実態調査を行い、モデル集落の選定を行う。

日南町の調査対象集落は、以下の 8 集落であるが、そのうち 10 世帯未満の集落を除く 6 集落を対象とする（2016 年度調査対象世帯数）。

呼子(21 世帯)、大菅(18 世帯)、上坂(16 世帯)、奥萩松原口(14 世帯)、山裏(13 世帯)、仲屋(11 世帯)  
野組(8 世帯)、大谷(3 世帯)

(2)モデル集落内での実態調査及び勉強会

モデル集落内においての実態調査及び勉強会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度も緊急事態宣言や鳥取県新型コロナ警報が発令されていたため延期した。

(3)日南町の空き家率調査

日南町全域を対象に、日南町からのデータ提供をもとに、平常時の生活環境の把握を行うため、空き家率調査を行い、可視化した。

(4)日南町の伝統的木造住宅の調査

伝統的木造住宅である木下家住宅の地盤及び建物振動特性調査を実施した。



## 令和4年度連携事業計画

### 1. 継続事業

- ①「にちなんふる里まつり」に連携する出前科学実験教室：  
地域実践教育活動（エクステンション&アウトリーチ事業）
- ②国際理解講座「外国の文化に触れよう」：  
地域実践教育活動（エクステンション&アウトリーチ事業）
- ③とっとり暮らし早期体験学習：地域実践型教育活動（地域連携授業）
- ④地方創生政策体験学習：地域実践型教育活動（地域連携授業）
- ⑤鳥取県の孤立の可能性ある集落における地域防災力向上のための支援プログラムの構築：  
とっとりプラットフォーム5+α共同研究事業
- ⑥日南町ショートタイムワーク：その他連携事業

### 2. 新規事業

- ①200年の森樹木調査事業
- ②災害時の食の備えに関する調査





## 【令和3年度までの主な経緯】

### 【平成16年度】

- (1) H17. 2. 8 矢田日南町長、内田課長 鳥大訪問
- (2) 3. 23-24 岩崎理事外日南町訪問（情報交換会、にちなん環境林視察）

### 【平成17年度】

- (3) H17. 4. 21 本名農学部長、日置教授外日南町訪問、視察（県庁林政課同行）
- (4) H18. 2. 21 矢田日南町長、内田課長来学 学長、岩崎理事、林監事外訪問
- (5) 2. 28-3. 1 岩崎理事、林監事外 日南町訪問（意見交換会、町内小学校等視察、協定の調印式）

### 【平成18年度】

- (6) H18. 4. 20 第1回ワーキンググループ会議 ～H19. 3. 24 第4回WG会議
- (7) 7. 7 地域活性化教育研究センター開所式及び記念講演会（能勢学長講演）
- (8) H19. 3. 25 鳥取大学・日南町連携事業成果報告会（日南町役場交流ホールにて）

### 【平成19年度】

- (9) H19. 4. 1 鳥取大学社会貢献推進課における日南町職員の派遣研修（手嶋主事）
- (10) 4. 16 30年後プロジェクト有識者会議
- (11) 4. 20 第1回WG会議 ～H20. 3. 2 第3回WG会議
- (12) H20. 3. 2 連携事業成果報告会（日南町生涯学習まちづくりフォーラム共催）

### 【平成20年度】

- (13) H20. 4. 1 鳥取大学社会貢献室における日南町職員の派遣研修（高橋主任）
- (14) 4. 19 30年後プロジェクト有識者会議
- (15) 5. 8 第1回WG会議 ～H21. 2. 15 第3回WG会議
- (16) H21. 2. 15 連携事業成果報告会（日南町生涯学習まちづくりフォーラム共催）

### 【平成21年度】

- (17) H21. 4. 1 鳥取大学社会貢献室における日南町職員の派遣研修（荒金主事）
- (18) 6. 9 第1回WG会議 ～H22. 3. 12 第3回WG会議
- (19) 9. 9-11 明治大学「M-Nav」プログラムによる日南町訪問
- (20) 9. 16 「日野郡フィールド実践による地域づくりセミナー」過疎プロジェクト報告会開催
- (21) H22. 1. 22 「大学連携によるまちづくり」能勢学長講演会／連携事業報告会
- (22) 2. 18-19 明治大学菊地ゼミによる日南町訪問・意見交換

### 【平成22年度】

- (23) H22. 4. 1 鳥取大学社会貢献室における日南町職員の派遣研修（荒金主事（2年目））
- (24) 4. 19 第1回WG会議 ～H23. 3. 12 第3回WG会議
- (25) 9. 9 日南町議会による鳥大視察、研修会
- (26) 11. 24 日南町議会・教育委員会合同研修会
- (27) H23. 2. 1 明大・鳥大合同セミナー「日南町地域活性化への提言」
- (28) 3. 12 「地球温暖化と日南町の挑戦」中村名誉教授講演、連携事業報告会

### 【平成23年度】

- (29) H23. 4. 1 鳥取大学社会貢献課における日南町職員の派遣研修（石倉主事）
- (30) 5. 6 鳥取大学連携講座「にちなん町民大学」～12. 2 計10回開催
- (31) 6. 15 第1回WG会議 ～H24. 3. 3 第3回WG会議
- (32) 10. 24 日南町議会による鳥大視察、研修会
- (33) 11. 20-22 明治大学菊地准教授ゼミ生による日南町訪問・意見交換
- (34) H24. 3. 3 連携事業成果報告会（同日、日南町環境フォーラム開催）

## 【平成 24 年度】

- (35) H24. 4. 1 鳥取大学社会貢献課における日南町職員の派遣研修（石倉主事（2 年目））
- (36) 4. 28 鳥取大学連携講座「にちなん町民大学」～12.8 計 10 回開催
- (37) 6. 8 第 1 回WG会議 ～H25.3.2 第 3 回WG会議
- (38) 8. 20 インターンシップ受入（～8.31 のうち 10 日間）
- (39) 10. 24 日南町議会による鳥大視察、研修会
- (40) 11. 16 にちなん「農家楽」セミナー開催
- (41) H25. 1. 25 日南町自治協議会・自治会長会合同研修（乾燥地研究センター見学）
- (42) 3. 2 連携事業成果報告会（日南町総合文化センターにて）

## 【平成 25 年度】

- (43) H25. 4. 1 鳥取大学社会貢献課における日南町職員の派遣研修（川上主事）
- (44) 5. 17 鳥取大学連携講座「にちなん町民大学」～翌 26.3 計 11 回開催
- (45) 6. 11 第 1 回WG会議 ～H26.3.9 第 3 回WG会議
- (46) 9. 9 インターンシップ受入（～9.13 工学研究科 学院生 3 名）  
～H25.11.11 報告会を開催（日南町役場にて）
- (47) 10. 2 日南町森林活用プロジェクト会議の立ち上げ  
第 1 回日南町森林活用プロジェクト会議 ～H25.12.5 第 2 回会議
- (48) 11. 12 四町連携（日南、南部、大山、琴浦）合同企画  
鳥取大学連携シンポジウムを開催（琴浦町にて）
- (49) 3. 9 連携事業成果報告会（日南町総合文化センターにて）

## 【平成 26 年度】

- (50) H26. 4. 1 鳥取大学社会貢献課における日南町職員の派遣研修（川上主事（2 年目））
- (51) 5. 16 鳥取大学連携講座「にちなん町民大学」～翌 27.3 計 12 回開催
- (52) 6. 1 鳥取大学知（地）の拠点整備事業シンポジウムを開催（増原町長出席）
- (53) 6. 10 第 1 回WG会議 ～H27.2.28 第 3 回WG会議
- (54) 7. 31 第 1 回日南町森林活用プロジェクト会議 ～H26.11.5 第 2 回会議
- (55) 9. 9 ハーブの利用に関する研究会が解散
- (56) 9. 29 オーダーメイド型インターンシップ開催（～10.3 工学研究科 6 名）  
～H26.12.1 報告会を開催（日南町役場にて）
- (57) 10. 12 鳥取大学風紋祭に炊き込みご飯を出展（四町連携事業）
- (58) 2. 9 4 タウンストーリーズ（地域の課題解決に取り組んだ学生たち）  
研究展示会を開催（～2.26 鳥取大学広報センター）
- (59) 2. 24 日南小学校にて高齢者疑似体験学習を開催（医学部山本教授）
- (60) 2. 28 連携事業成果報告会（日南町総合文化センターにて）

## 【平成 27 年度】

- (61) H27. 4. 1 鳥取大学社会貢献課における日南町職員の派遣研修（古川主事）
- (62) 4. 17 鳥取大学連携講座 平成 27 年度「にちなん町民大学」開校～翌 28.3 計 13 回開催
- (63) 5. 9 「地（知）的好奇心育成のための早期体験学習」にて、学生が日南町での体験活動（田植え）
- (64) 6. 2 第 1 回WG会議 ～H28.2.28 第 3 回WG会議
- (65) 7. 1 地域学部「地域学入門」にて、古川派遣職員が鳥大と日南町の連携について説明
- (66) 7. 15 とりりん・オッサンショウオ木製パネルの鳥大への贈呈式（鳥取大学広報センター）
- (67) 7. 15 「公共政策論 I」にて、増原町長が『「創造的過疎」のまちづくり』と題して講演
- (68) 7. 30 放置財研究会が発足
- (69) 8. 20 子ども支援連絡会議を開催（計 3 回開催）
- (70) 9. 5 日南町まちづくり大会～まち（むら）づくり協議会 10 周年＆鳥取大学×日南町連携協定 10 周年記念事業  
～（日南町総合文化センターさつきホールにて）
- (71) 10. 10 鳥取大学風紋祭に炊き込みご飯を出展（5 町連携事業）
- (72) 10. 25 にちなんふる里まつり連携出前科学実験教室 2015（9 年目）
- (73) 12. 11 大宮で現地報告会を開催  
（地域貢献支援事業「コミュニティ力向上に向けたワークショップスキームの開発」）
- (74) 2. 27 連携事業成果報告会（日南町総合文化センターにて）
- (75) 2. 29 WG 会議が平成 27 年度鳥取大学長表彰「社会貢献賞」を受賞

## 【平成 28 年度】

- (76) H28. 4. 1 鳥取大学社会貢献課における日南町職員の派遣研修（佐伯主事）
- (77) 5. 14 「地（知）的好奇心育成のための早期体験学習」にて、学生が日南町での体験活動（田植え）
- (78) 7. 6 第 1 回WG会議 ～H29.3.5 第 3 回WG会議
- (79) 7. 20 鳥取大学公開講座 平成 28 年度「にちなん町民大学」開校～翌 29.3 計 3 回開催
- (80) 6. 29 地域学部「地域学入門」にて、佐伯派遣職員が鳥大と日南町の連携について説明
- (81) 8. 1 阿毘縁解脱時にて、前鳥取大学長の能勢隆之先生が「健康幸福寿命」について講演
- (82) 9. 12 第 3 回放置財研究会を開催（鳥取県庁にて）
- (83) 10. 23 にちなんふる里まつり連携出前科学実験教室 2016（10 年目）
- (84) 11. 5 秋の図書館祭りに併せ「国際理解講座」を開催（日南町総合文化センターにて）
- (85) 11. 10 地域学部「地域就業論」にて、日南町古川主事が「公務員として地域で働くこと」について講演
- (86) 12. 12 阿毘縁お墓山にて、農学部学生が樹木銘板を設置
- (87) 12. 18 大宮で現地報告会を開催（大宮まちづくり協議会／地域学部福田教授、筒井准教授との連携）
- (88) H29. 3. 5 連携事業成果報告会（日南町総合文化センターにて）

## 【平成 29 年度】

- (89) H29. 4. 1 鳥取大学社会貢献推進課における日南町職員の派遣研修（佐伯主事（2 年目））
- (90) 5. 13 「とっとり暮らし早期体験学習」にて、学生が日南町での体験活動（田植え）
- (91) 5. 15 インターシップ受入（～5.19 農学部学生 1 名）
- (92) 7. 13 第 1 回WG会議～H29.3.3 第 3 回WG会議
- (93) 8. 5 日野川水系における水質調査報告会を開催（日南町総合文化センターにて）
- (94) 8. 9 鳥取大学の学生を招き「国際理解講座」を開催（日南町総合文化センターにて）
- (95) 8. 28 インターンシップ受入（～10.30 農学部学生 3 名）
- (96) 9. 15 地方創生政策体験学習を実施（9.15～17 までの 3 日間、日南町地内にて）
- (97) 10. 22 にちなんふる里まつり連携出前科学実験教室 2017（11 年目）
- (98) 12. 9 地域学部学生と大宮まち協によるまちづくり塾「ぎばんで」を開催  
（大宮まちづくり協議会／地域学部筒井准教授との連携）
- (99) H30. 1. 28 「ITS セミナー in 鳥取」にて、企画課出口室長、西田主幹が町の取組みを報告  
（東京大学次世代モビリティセンター主催／鳥取大学共催）
- (100) 3. 3 連携事業成果報告会を開催（日南町総合文化センターにて）
- (101) 3. 23 大宮で現地報告会を開催（大宮まちづくり協議会／地域学部筒井准教授との連携）

## 【平成 30 年度】

- (102) H30. 4. 1 鳥取大学地域価値創造研究教育機構企画管理室における日南町職員の派遣研修（牧主事）
- (103) 5. 8 「とっとり暮らし早期体験学習」にて、学生が日南町での体験活動（にちなんめしふえす）
- (104) 7. 5 第 1 回WG会議～H30.3.2 第 2 回WG会議
- (105) 8. 10 鳥取大学の学生を招き「国際理解講座」を開催（日南町総合文化センターにて）
- (106) 8. 25 地方創生政策体験学習を実施（8.25～28 までの 4 日間、日南町地内にて）
- (107) 10. 28 にちなんふる里まつり連携出前科学実験教室 2018（12 年目）
- (108) 12. 15 地域学部学生と大宮まち協によるまちづくり塾「ぎばんで」を開催  
（大宮まちづくり協議会／地域学部筒井教授との連携）
- (109) 1. 10 日南町民大学で「日南町の多様な地質から読み解く地球の歴史」と題して講演  
（農学部生命環境農学科菅森講師）
- (110) 3. 2 連携事業成果報告会を開催（日南町総合文化センターにて）

## 【令和元（平成 31）年度】

- (111) H31. 4. 1 鳥取大学地域価値創造研究教育機構企画管理室における日南町職員の派遣研修（牧主事（2 年目））
- (112) R 1. 5. 8 「とっとり暮らし早期体験学習」にて、学生が日南町での体験活動（にちなん中国山地林業アカデミー）
- (113) 7. 1 日通共生の森 10 周年記念事業生態系調査（7/8、13、8/22、9/17、10/25）
- (114) 7. 16 第 1 回WG会議～R2. 2. 29 第 3 回WG会議
- (115) 8. 7 「国際理解講座」の開催（日南町総合文化センターにて）
- (116) 9. 3 地方創生政策体験学習を実施（9. 3～6 までの 4 日間、日南町地内にて）
- (117) 10. 6 町制 60 周年記念式典のアトラクションコーナーにて、鳥取大学ジャズ&フュージョン研究会が演奏
- (118) 10. 20 にちなん日和 2019 にて、鳥取大学吹奏楽団ウインドアンサンブルが演奏
- (119) 10. 27 にちなんふる里まつり連携出前科学実験教室 2019（13 年目）
- (120) R 2. 1. 10 地域学部学生と大宮まち協によるまちづくり塾「ぎばんで」を開催  
（大宮まちづくり協議会／地域学部筒井教授との連携）
- (121) 2. 29 【中止】連携事業成果報告会を開催（日南町総合文化センターにて）
- (122) 3. 24 【中止】日南町民大学で「鳥取県指定天然記念物に指定される「日南町神福のサクラソウ群落」の講演  
（農学部生命環境農学科永松教授）

## 【令和 2 年度】

- (123) R 2. 4. 1 鳥取大学地域価値創造研究教育機構地域連携推進室における日南町職員の派遣研修（中嶋主事）
- (124) 4. 1 日南町福万来におけるゲンジボタル生息水域の調査（日南町福万来地内にて）
- (125) 4. 9 日通共生の森 10 周年記念事業生態系調査（2 年目）
- (126) 6. 22 第 1 回WG会議～R3. 3. 9 第 3 回WG会議
- (127) 7. 15 日南町民大学で「鳥取県指定天然記念物に指定された「日南町神福のサクラソウ群落」について講演  
（農学部生命環境農学科永松教授）
- (128) 8. 2 「とっとり暮らし早期体験学習」にて、学生が日南町で体験活動（にちなん中国山地林業アカデミー）
- (129) 8. 21 中山間地域における課題解決及び SDGs 推進に関する連携協定
- (130) 9. 3 地方創生政策体験学習を実施（8. 31～9/3 の 4 日間、日南町地内にて）
- (131) 10. 24 【中止】にちなんふる里まつり連携出前科学実験教室 2020（14 年目）
- (132) R 3. 3. 1 連携事業成果報告会を開催
- (133) 3. 30 「国際理解講座」の開催予定（日南町総合文化センターにて）

## 【令和 3 年度】

- (134) R 3. 4. 1 鳥取大学地域価値創造研究教育機構地域連携推進室における日南町職員の派遣研修（中嶋主事）
- (135) 4. 1 日南町ショートタイムワークプロジェクト（2 年目）
- (136) 4. 1 日南町福万来におけるホテルによるエコツーリズム振興のための研究（日南町福万来地内にて）
- (137) 4. 1 鳥取県の孤立の可能性ある集落における地域防災力向上のための支援プログラムの構築
- (138) 6. 22 第 1 回WG会議～R3. 3. 31 第 2 回WG会議
- (139) 8. 21 中山間地域における課題解決及び SDGs 推進に関する連携協定
- (140) 10. 24 にちなんふる里まつり連携出前科学実験教室 2021（15 年目）
- (141) 11. 21 「とっとり暮らし早期体験学習」にて、学生が日南町で体験活動（にちなん中国山地林業アカデミー）
- (142) 【中止】地方創生政策体験学習
- (143) 【中止】「国際理解講座」

